

スポーツ かわさき

No. 48

市制記念川崎市スポーツダンス競技大会

主催 川崎市教育委員会・財団法人川崎市体育協会 実行委員 川崎市アマチュアダンス協会 協賛 川崎市アマチュアダンス協会



目次

- 市体協10年度事業計画・予算決まる ②
- 平成9年度体育協会表彰 ④
- 国体室だより「ゆめ国体」開幕 ⑥
- いきいき体操フェアかながわ案内 ⑧
- 今年度の選手強化育成事業 ⑨
- 身障者スポーツ大会リハーサル大会 ⑩
- 川崎市スポーツ少年団の現況 ⑫
- 川崎市こども相撲大会 ⑬
- 各種市民大会の記録 ⑭
- 体協賛助会にご入会のお願い ⑯

財団法人 **川崎市体育協会**

「かながわ・ゆめ国体」の成功と「健康都市川崎」の構築に向けて

—平成10年度川崎市体育協会事業計画ならびに予算決まる—



(財)川崎市体育協会第3回評議員会並びに第4回理事会が、去る平成10年3月18日(水)18時から川崎市幸スポーツセンター研修室で開かれ、平成10年度の体協事業の計画案、収支予算案等が審議され、いずれも原案通り可決承認されました。

冒頭、高雲和也体育協会会長は、間近に迫った「かながわ・ゆめ国体」の成功と、国体後の市民体育の構築に向けて次のように挨拶し、「健康都市川崎」の創造に協力を要請されました。以下は会長挨拶の要旨です。

「今日は、新年度の事業計画と収支予算についてご検討いただく重要な会議ですが、ご承知の通りの厳しい社会経済環境にあり、すさまじい変化が日夜続いています。予算の策定については教育長をはじめとし、スポーツ課長にも大変なご苦勞をいただき、併せてまた加盟団体のご協力にもよって、体協の自主財源をカバーし、加盟団体が元気に事業に取り組める計画を提案できるようになりました。皆様のスポーツボランティア活動によって、①国体の成功、②国体後の構築について希望の光を注ぎ「健康都市川崎」の創造にご協力をお願いしたいと思います。行政当局の当協会に対するご理解に対し、重ねてお礼申し上げますとともに、市民の皆様の体育協会に対する更なるご理解とご支援をお願いするものであります。」

平成10年度事業計画の概要

1. スポーツ教室等の開催事業

- 市民ハイキング(4月) ●市民登山教室(7月)
- 初心者水泳教室(4月～5月及び9月・11月)
- 市民スキーフェスティバル(1月)
- 親子スキー教室(3月)
- 日本赤十字社救急法講習会(3月)
- 市民スケート教室(1月および2月)
- 初心者なぎなた教室(5月～6月)
- 親子ボウリング教室(7月および8月)

2. スポーツ活動の普及事業

- 体育の日記念事業(10月)
- 親子ふれあいゲートボール(10月)
- 市民マスターズ水泳大会(10月)
- 市民秋季登山(9月)
- 家庭婦人テニス大会(10月)
- 市民マラソン大会(11月15日)
- 市長杯争奪選抜サッカー大会(12月)
- 市民体育大会(4月～3月)陸上競技・バレーボール・バスケットボール・卓球・バドミントン・テニス・ソフトテニス・柔道・剣道・弓道・相撲・山岳
- 市民バスケットボールフェスティバル(12月)
- 春季市民体育大会(9種目)
- 市制記念市民体育大会(19種目)
- 秋季市民体育大会(19種目)
- ねんりんピック選手選考補助(4月～5月)
- 家庭婦人バレーボール大会(9月)

3. スポーツ情報の提供事業

- スポーツ川崎の発行(年3回・6月・10月・2月)
- 体育協会要覧の発行(6月)

4. スポーツ団体の育成指導に関する事業

- 加盟団体運営補助及び指導
- スポーツ少年団運営補助

5. 対外競技派遣事業

- 県総合体育大会選手派遣
(夏季3種目・秋季11種目・冬季1種目)
- 国民体育大会選手派遣(夏季・秋季・冬季)
- 市町村対抗かながわ駅伝大会選手派遣

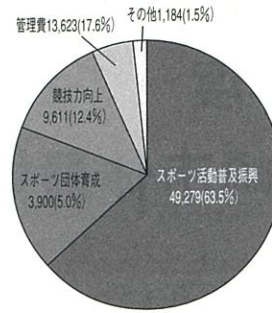
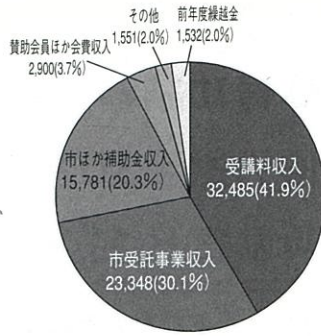
6. 選手強化育成事業

- 学童泳力記録会(8月)
- こども相撲大会(5月)
- 選手強化育成事業支援(年間20種目団体)

7. 功績表彰の実施事業

- 体育功績者・優秀選手(魚津賞)表彰・奨励者表彰(6月)

以上の体育協会事業に関する詳しい内容等については、体育協会事務局または次ページに掲載の加盟団体連絡者にお問い合わせ下さい。



—平成10年度各種市民大会の日程ほぼ決まる—

本協会および川崎市教育委員会主催の平成10年度春季大会等各種大会の日程がほぼ決まりました。すでに大半が終了している春季市民大会を含め、市制記念大会・秋季市民大会の予定を中心に一覧にしました。(空欄は未定)

春季市民大会			秋季市民大会		
行事名	期間	会場	行事名	期間	会場
サッカー大会	10年4月5日～	等々力サッカー場他	野球大会	10年9月1日～	大師球場
バレーボール大会	10年4月12日～	アリーナ他	バレーボール大会	10年10月11日～	
野球大会	10年4月6日～	大師球場	サッカー大会	10年6月13日～	等々力サッカー場他
ラグビーフットボール大会	10年4月19日～	等々力サッカー場他	ハンドボール大会	10年9月13日～	市内高校グラウンド
体操大会	10年4月26日	アリーナ	柔道大会	10年10月4日	体育館
ソフトテニス大会	10年4月29日～	富士見庭球場他	ソフトテニス大会	10年10月4日～	富士見庭球場他
フットボール大会	10年5月10日～	各会場	相撲大会	10年10月10日	富士見相撲場
バドミントン大会	10年5月24日	体育館	弓道大会	10年10月18日～	富士見弓道場
ゲートボール大会	10年6月3日	催し物広場	ラグビーフットボール大会	10年10月18日～	等々力サッカー場他
スケート大会	11年月日	神奈川スケートリンク	ソフトボール大会	10年10月18日～	
スキー大会	11年2月14日	福島県たかつえスキー場	テニス大会	10年11月1日～	富士見庭球場他
卓球大会	11年3月14日	アリーナ	陸上競技大会	10年11月3日	等々力陸上競技場
市制記念大会			バスケットボール大会	10年11月3日～	麻生スポーツセンター
卓球大会	10年5月23.24日	アリーナ	体操大会	10年11月8日	体育館
柔道大会	10年5月31日	体育館	少林寺拳法大会	10年11月8日	麻生スポーツセンター
野球大会	10年6月1日～	桜川・池上球場	剣道大会	10年11月29日	アリーナ
バスケットボール大会	10年6月7日～	市体育館	空手大会	10年11月22日	アリーナ
テニス大会	10年6月13日～	等々力庭球場他	バドミントン大会	10年12月6日	アリーナ
アルプス登山	10年6月13.14日	八ヶ岳「硫黄岳」	卓球大会	10年12月19.20日	体育館
陸上競技大会	10年6月27.28日	等々力陸上競技場	合気道演武大会	10年11月27日	石川記念武道館
なぎなた大会	10年6月28日～	幸スポーツセンター	その他		
バレーボール大会	10年7月5日～		市民野球大会	10年4月～12月	
剣道大会	10年7月5日	アリーナ		10年10月10日	大師・富士見
弓道大会	10年7月5日	富士見弓道場	体育の日の記念事業	を中心に開催する	等々力各スポセン
相撲大会	10年7月5日	富士見相撲場	市民マラソン大会	10年11月15日	等々力陸上競技場
ソフトテニス大会	10年7月5日～	富士見庭球場他			スタート
スポーツダンス大会	10年7月26日	幸スポーツセンター	スキーフェスティバル	11年1月中旬	蔵王温泉スキー場
バドミントン大会	10年8月30日	体育館	親子白銀の集い	11年3月下旬	車山高原スキー場
水泳大会	10年8月30日	NKKプール	種目別競技	10年度内種目別	各会場
ボウリング大会	10年6月28日	(予定)川崎グラウンド	選手強化	に実施	
クレール射撃大会	10年9月26日	県大井クレール射撃場	育成事業		(延べ20種目)
ゴルフ大会	10年月日				

平成9年度

(財)川崎市体育協会表彰

体育功績者 15名

優秀選手30名・7団体

奨励賞8名・10団体

永年にわたり、本市におけるスポーツの普及・振興に顕著な功績を残された方々に贈る「体育功績者賞」。全国規模のスポーツ大会で優勝ないしは第3位以内に入賞した選手・チームに贈られる「優秀選手賞(魚津賞)」。それに将来への期待と激励の意味をこめ、好成績を挙げられた選手・チームに贈る「奨励賞」。(財)川崎市体育協会が設けているこれら3つの賞の授与式が、去る平成10年6月17日(水)午後3時から市立教育文化会館で行われました。平成9年度表彰は、体育功績者15名、優秀選手30名・7団体。また奨励賞は8個人・10チーム。それぞれ、高雲和也体協会長から贈呈されました。



体育功績者賞受賞者



優秀選手賞受賞者

平成9年度体育功績者 (敬称略)

- | | | | |
|----|----------|--------|------|
| 1 | 陸上競技協会 | 大熊 孝 | (67) |
| 2 | 野球協会 | 海老塚 信弘 | (63) |
| 3 | バレーボール協会 | 黒木 忠雄 | (58) |
| 4 | ソフトテニス協会 | 中森 英喜 | (57) |
| 5 | 柔道協会 | 矢野 昌平 | (54) |
| 6 | 剣道連盟 | 小林 四郎 | (72) |
| 7 | 相撲連盟 | 大嶋 道孝 | (58) |
| 8 | 弓道連盟 | 工藤 麻紀 | (49) |
| 9 | 山岳協会 | 井上 信義 | (55) |
| 10 | 水泳協会 | 木村 文代 | (56) |
| 11 | スキー協会 | 大澤 佑吉 | (60) |
| 12 | サッカー協会 | 亀倉 達雄 | (46) |
| 13 | 少林寺拳法協会 | 吉田 勝佳 | (62) |
| 14 | ボウリング協会 | 斉藤 義晴 | (61) |
| 15 | ゲートボール協会 | 斉藤 一 | (79) |

平成9年度優秀選手賞 (魚津賞) (敬称略)

- | | | | |
|---|--------------------|------|--|
| 1 | 大島 旭 市立御幸中学校 | (15) | 全国中学校選手上選手権大会 三種競技A 3位 |
| 2 | 大槻 康勝 法政大学 | (21) | 全日本中学校通信陸上競技大会県大会三種競技A優勝
日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子100m優勝 |
| 3 | 荻部 俊二 富士通(株) | (28) | おおさか国体 成年男子400mH 優勝(大会新)
日本陸上競技選手権大会400m優勝(アジア新) |
| 4 | 土江 寛裕 富士通(株) | (23) | おおさか国体 成年男子100m 2位 |
| 5 | 小出 真弓 市立橘高校(当時) | (18) | 全日本ユース 女子アジア大会 優勝 |
| 6 | 山田 昭彦 夢見ヶ崎ローテニスクラブ | (82) | 第59回全日本グランドベテランテニス選手権大会
70才以上の部 ダブルス 2位 |
| 7 | 岩見 務 日本大学 | (22) | 第45回 全日本学生剣道選手権大会 優勝 |

- | | | | |
|----|------------------------|------|--|
| 8 | 小松 はるみ 専修大学 | (19) | 第73回日本学生選手権水泳競技大会800m自由形優勝 |
| 9 | 山野 井絵里 専修大学 | (19) | 第19回ジュニアオリンピック県予選会1500m自由形(日本新)
第73回日本選手権水泳大会800m自由形優勝(日本新)
ユニバーシアード大会400m自由形 優勝 |
| 10 | 高安 亮 法政大学第二高等学校 | (16) | 第65回日本高等学校選手権大会100mバタフライ 優勝 |
| 11 | 太田 好美 宮前平小学校 | (10) | 第20回ジュニアオリンピックカップ 水泳夏季大会
10才以下女子 50m平泳ぎ 2位 |
| 12 | 青木 健祐 稲田中学校 | (14) | 第20回ジュニアオリンピックカップ 水泳夏季大会
13~14才以下男子100mバタフライ優勝 |
| 13 | 脇森 智志 中野島中学校 | (15) | 第20回ジュニアオリンピックカップ 水泳春季大会
15~16才以下男子50mバタフライ優勝 |
| 14 | 西尾 直人 新城高校 | (15) | 第20回ジュニアオリンピックカップ 水泳夏季大会
15~16才以下男子50m平泳ぎ 2位 |
| 15 | 小林 健一 日本大学高等学校 | (16) | 第20回ジュニアオリンピックカップ 水泳夏季大会
15~16才以下男子50m自由形 優勝 |
| 16 | 大村 俊文 NKK水泳部 | (23) | おおさか国体 成年男子200mフリーリレー 2位 |
| 17 | 毛利 邦 NKK水泳部 | (19) | 第48回 日本実業団水泳大会
200m背泳ぎ 優勝 100m自由形 3位 |
| 18 | 東郷 英章 NKK水泳部 | (25) | 第48回日本実業団水泳大会100,200m平泳ぎ優勝
おおさか国体 成年男子400mメドレーリレー 2位 |
| 19 | 杉沢 毅志 NKK水泳部 | (30) | 第48回 日本実業団水泳大会400m自由形 優勝 |
| 20 | 栗原 かおり NKK水泳部 | (23) | 第48回 日本実業団水泳大会50m自由形 2位
おおさか国体 成年女子200mフリーリレー 3位 |
| 21 | 川戸 慎一 富士通(株)水泳部 | (23) | おおさか国体 成年男子400mメドレーリレー 2位 |
| 22 | 遠藤 牧夫 富士通(株)水泳部 | (25) | おおさか国体 成年男子200mフリーリレー 2位 |
| 23 | 田中 正諄 いすゞ川崎 | (77) | 全日本スキーマスターズ大会 年齢別男子大回転2位
(男子大回転 第1戦2位, 第2戦2位) |
| 24 | 太田 憲宏 空手道拳心会森道場 | (21) | おおさか国体 成年男子団体戦 組手 2位
関東選手権大会団体組手 優勝, 個人戦軽量級 優勝 |
| 25 | 小笠原 明美 市なぎなた連盟 | (27) | 第38回 都道府県対抗なぎなた大会 2位 |
| 26 | 佐藤 保子 市なぎなた連盟 | (25) | 第38回 都道府県対抗なぎなた大会 2位 |
| 27 | 三村 正子 NBFMSシンボル支部 | (52) | 第25回 全日本ボウリング選手権大会
女子シニアの部 3位 |
| 28 | 河上 光子 JBC実業団日本コロムビア(株) | (50) | おおさか国体 成年女子 ハイミドルの部 優勝
通商産業杯第23回全日本実業団産業別選手権 |
| 29 | 森山 あづさ 市立中原中学校 | (15) | 第28回全国中学校卓球大会 女子シングルス 3位 |
| 30 | 岩田 玲奈 洗足学園大学付属高等学校 | (18) | 第65回 日本高等学校選手権 水泳競技大会
女子800m自由形優勝, 女子400m自由形2位 |

平成9年度優勝チーム（魚津賞）（敬称略）

- 1 東芝男子バスケットボール部 監督 吉田 健司 第2回 JBL 男子トーナメント大会 優勝
- 2 富士通(株)水泳部 男子チーム 監督 斉藤 崇 第48回日本実業団水泳大会 男子400mフリーリレー 優勝
- 3 富士通(株)水泳部 男子チーム 監督 斉藤 崇 第48回日本実業団水泳大会 男子400mメドレーリレー優勝
- 4 NKK 水泳部 男子 監督 中村 康英 第48回日本実業団水泳大会 男子の部 総合優勝
- 5 NKK 水泳部 女子 監督 中村 康英 第48回日本実業団水泳大会 女子の部 総合優勝
- 6 サギスマスイミングクラブ 所在地:宮前区土衛7-22-1 第20回ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
15～16才男子400mメドレーリレー 優勝
- 7 市立稲田中学校 水泳部 監督 松田 典英 第37回 全国中学校選抜水泳競技大会
男子400mメドレーリレー 3位

平成9年度奨励者（敬称略）

- 1 佐々木浩子 市立橋高等学校 (18) 全国高等学校総合体育大会 剣道大会女子個人戦 2回戦敗退
(第35回神奈川県高等学校総合体育大会女子個人戦 優勝)
- 2 松尾千恵子 JCB社会人部 (49) 第34回東日本ボウリング選手権大会予選会 女子の部 3位
川崎グランドボウルクラブ (第34回東日本ボウリング選手権大会 女子4人チーム戦優勝)
- 3 相良 康介 市立菅生中学校 (15) 第43回全日本中学校通信陸上競技大会(県大会)
三種競技B・400m 優勝
- 4 岡田 安規 市立加瀬中学校 (15) 第24回全日本中学校陸上競技選手権大会 準決勝 進出
(第10回神奈川県中学校選抜陸上競技大会400m 優勝)
- 5 藤城 亮人 市立京町中学校 (15) 第27回全日本中学校相撲選手権大会 予選敗退
(第31回神奈川県中学校総合体育大会 相撲個人戦 優勝)
- 6 森 哲 法政大学第二高等学校 (18) 第65回全日本高等学校選手権水泳競技大会200m自由形予選敗退
(第35回神奈川県高等学校総合体育大会 男子200m自由形優勝)
- 7 岩瀬すみれ 市立高津高等学校 (18) 平成9年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニスダブルス女子5回戦敗退
(平成9年度神奈川県高等学校総合体育大会 県予選 優勝)
- 8 山田 美紗 市立高津高等学校 (18) 平成9年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニスダブルス女子5回戦敗退
(平成9年度神奈川県高等学校総合体育大会 県予選 優勝)



奨励賞受賞者

平成9年度奨励者（チーム）（敬称略）

- 1 市立橋高校 監督 羽田野義博 第29回全国高等学校選抜優勝大会（春の高校バレー） 出場
バレーボール部男子 (神奈川県高等学校バレーボール選抜優勝大会代表選考会において2位)
- 2 市立橋高校 監督 羽田野義博 平成9年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技 出場
バレーボール部女子 (神奈川県高等学校バレーボール県予選大会において 2位)
- 3 市立南加瀬中学校 監督 要 辰也 第28回全国中学校柔道大会 男子団体の部 予選リーグ敗退
柔道部 (第40回神奈川県中学校柔道大会において 男子団体の部 優勝)
- 4 市立京町中学校 監督 星野 泰夫 第27回全国中学校相撲選手権大会 男子団体の部 予選リーグ敗退
相撲部 (第26回神奈川県中学校相撲大会において 男子団体の部 優勝)
- 5 市立稲田中学校 監督 松田 典英 第37回全国中学校水泳競技大会 男子400mフリーリレー 予選敗退
水泳部 (第37回神奈川県中学校水泳競技大会において400mフリーリレー勝)
- 6 市立中野島中学校 監督 柚賀 直子 第37回全国中学校水泳競技大会 男子400mメドレーリレー 4位
水泳部 (第37回神奈川県中学校水泳競技大会において400mメドレーリレー優勝)
- 7 市立川崎総合科学高等学校 監督 五十嵐 功 第48回全国高等学校総合体育大会 男子バドミントン選手権 3回戦敗退
バドミントン部男子 (第48回全国高等学校総合体育大会 県予選大会 団体戦において 優勝)
- 8 県立百合丘高等学校 監督 山下 眞一 第41回全国高等学校総合体育大会 登山大会男子縦走 15位
ワンダーフォーゲル部 (第35回全国高等学校総合体育大会 県予選大会男子エントリー 上位2チーム入賞)
- 9 県立川崎北高等学校 監督 鶴留 高伸 第48回全国高等学校総合体育大会 女子ハンドボール 1回戦敗退
ハンドボール部女子 (第35回全国高等学校総合体育大会 県予選大会において 優勝)
- 10 市立高津高等学校 監督 大窪 光夫 平成9年度全国高等学校総合体育大会 女子ソフトテニス 3回戦敗退
ソフトテニス部女子 (第35回全国高等学校総合体育大会 県予選大会団体戦において 優勝)



受賞のことば

川崎市立稲田中学校

3年 青木 健祐

本日はこんなすばらしい賞をいただき、本当にありがとうございました。日頃から一生懸命練習に取り組んできた成果が認められたということで、大変うれしく思います。

今年は神奈川県で「ゆめ国体」が開催されます。私もゆくゆくは神奈川県の代表として、そして私の「ゆめ」であるオリンピック選手を目指して、これからもがんばっていきたいと思います。

神奈川県が、川崎市が大きな夢にむかって活躍することと、協会の発展をお祈りして、短いですがお礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

魚津賞とは

本市ソフトテニス協会の会長として体育振興に功績をあげ、去る昭和51年4月に逝去された故魚津 利氏のご芳志をもとに、優秀選手・チーム賞を受賞された方々に対し贈られるものです。



第53回国民体育大会『かながわ・ゆめ国体』が、いよいよ開幕しました。
 去る5月3日（日）から3日間、平塚市総合公園を中央会場にして、かながわ・ゆめ国体の「開幕祭」が華々しくくり広げられました。

一方、第34回全国身体障害者スポーツ大会かながわ・ゆめ大会のリハーサル大会が、選

“ゆめ”の誕生 「かながわ・ゆめ国体」いよいよ開幕！

5月3日に執り行われたオープニングの式典は、あいにくの雨模様のなか、予定どおり午後2時に、マーチングバンドの演技によって幕が開けられました。

国体に参加する全国47都道府県旗の入場が続いて、第53回国民体育大会の各競技会の開催を受けもつ、県下37市町村長が、プラカードを先頭にそれぞれの市町村旗を掲げて入場しました。

また、各競技ごとに描かれたマスコット『かなべえ』の旗が、今回の国体を契機に組織されたスポーツボランティア（現在登録されているボランティアは8,600名）の方々の手に掲げられて登場し、スタンドを埋め尽くした15,000人の観客の拍手を誘いました。



開会式で市旗を掲げて入場する川崎市代表

かながわ・ゆめ国体実行委員会会長の岡崎 洋知事は、開会の挨拶のなかで、「神奈川らしい爽やかな国体をめざして準備を進めてきました。『かながわ・ゆめ国体』を21世紀への夢を託したイベントとして、ぜひ成功させましょう」との熱いメッセージを県民におくりました。

式典につづいて、第2部アトラクションーおお汗・こ汗ーでは、県フォークダンス連盟や県民踊連盟などによる演技がくり広げられました。

第3部のコンサートーゆめの喜びーは地元神奈川出身の加山雄三氏がゲスト出演して、自らが53国体のために作曲したイメージソング「STAND」～汗と血潮と涙と～の披露を兼ねたコンサートが行われました。そして第4部は、サッカーエキジビジョンゲームーゆめの挑戦ーで、JリーグチームのOBなど元有名選手で固めたドリームチームとサッカー選手経験のあるタレントでつくるザ・ミイラチームの対戦が行われました。

なお、会場では20年ぶりに改変された国体選手のユニホームが披露され、いよいよ国体開催ムードが高まってきました。

“交流・体験・表現”

「交流広場」で国体を楽しもう！

秋季大会開催期間中 10/25～29

☆富士見会場→川崎球場前駐車場

☆等々力会場→緑地内催し物広場

全国から川崎市を訪れる選手・監督・各県役員など多くの大会参加者を温かく迎え、大会参加者市民との交流を深める場としての『交流広場』が会場近くに設置します。

「交流・体験・表現」を基本テーマに、秋季大会開催期間中の平成10年10月25日（日）から29日（木）まで、富士見会場では、川崎球場前駐車場に。等々力会場は、緑地内催し物広場に ①交流ゾーン ②体験ゾーン ③表現ゾーンに分けて設置します。

交流ゾーンでは、川崎市開催競技に参加する選手や大会参加者と多くの川崎市民が出会い、交流する場として、

- ◆ 休憩所
- ◆ 川崎の特産品紹介と販売
- ◆ 売店（飲食物、運動具）
- ◆ 郵便局コーナー、宅配便コーナー、川崎で

「かながわ・ゆめ国体」開幕！

▶ 手・大会役員・ボランティア5,000名を超える人々が参加して、川崎市および横浜市を会場に盛大に開催されました。

また、第4回かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会が開催され、川崎市における夏季大会・秋季大会の成功に向けて、具体的な事業推進計画が決定され、いよいよ万全の態勢が整いました。

の昭和30年開催第10回国体写真展など

体験ゾーンでは、くらしの中にスポーツ・レクリエーションを取り入れるためのいろいろな体験ができる場として、

- ◆ スポーツ・ゲームコーナー
- ◆ 昔懐かしい遊びコーナー
- ◆ レクリエーションコーナー

表現ゾーンでは、川崎市民の文化活動や身体表現活動を通して“川崎”を再発見し、うるおいのある生活を楽しむ場として、

- ◆ 川崎らしい文化芸能
- ◆ 音楽、体操、舞踊など
- ◆ 各種パフォーマンス

以上のような内容を関係団体や市民協力員の協力を得て、かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会実施本部が運営に当たります。

川崎市で もう一つのシンボルマーク



カラーでないのが残念ですが、「かながわ・ゆめ国体」に係わる川崎市独自のシンボルマークです。(上図)

中央部にある「川」を逆にした部分の左がピンク、中がグリーン、右が水色で配色されています。

川崎市の実施本部・各競技会の役員と補助員や市民協力員等々のウインドブレーカーやTシャツ等に、またポスターを使用して川崎市をアピールしようというものです。

このシンボルマークは、川崎市の「川」の字をモチーフとしてデザインしています。一本一本の水の流れが、豊かな川崎市を作りあげてことを表現しています。ピンク部分は川崎市の市の花であるツツジの花のいろ、緑色は川崎市の豊かな自然、青色は川崎市の澄みわたる空の色をそれぞれ表しています。



第53回 国民体育大会
かながわ・ゆめ国体
“おお汗こ汗”

各種シンボルマーク

●かなべえ	●スポーツ芸術
	
●軟式野球	●ボウリング
	
●ハンドボール	●テニス
	
●バスケットボール	
	

“ゆめを与えられる大会に”

会長 高橋市長挨拶

去る5月22日(金)午後2時から、ホテルKSPにおいて第3回常任委員会と第4回総会が開催されました。

第53回国民体育大会の開催を目前にした総会とあって多くの委員の皆さんの出席の中、まず、実行委員会会長高橋清市長から「昨年3月に市民みんなが健康で楽しく明るい生活が送れることを願い、『かわさき健康都市宣言』を発し、スポーツへの関心を高め日常の生活に取り入れることができるように環境を整えて来ています。とりわけ、ゆめ国体を目前にして、他都市・他県からのお客さんが本市にたくさんみえる、その人たちを温かく迎え、参加者みんながゆめのあるすばらしい大会となるようみなさんとともにがんばりたい」と挨拶があり、会長の議長で議事が進められました。

第3回常任委員会で決定された「第53回国民体育大会川崎市運営基本計画」が報告され承認されました。この「基本計画」は、川崎市で開催す



実行委員会総会で議長を務める高橋 清市長

る5競技会とスポーツ芸術の業務運営に関し基本となる計画です。

また、議事としては

- ① 平成9年度事業報告
- ② 平成9年度歳入歳出決算
- ③ 平成10年度事業計画
- ④ 平成10年度予算

が提案され承認されました。

かながわ・ゆめ国体川崎市実行委員会も、万全の態勢を整え、大会開催とその成功に向かって、力強く、歩を進めることになりました。

ご案内



いきいき体操フェアかながわ

7月11日(土)・12日(日)

第53回国民体育大会(かながわ・ゆめ国体)が、夏季大会は9月12日～15日、秋季大会は10月24日～29日に開催されますが、この平成10年を国体イヤーと位置づけ、5月から11月にかけて国際級競技者のスポーツ大会から誰でも参加できる市民のスポーツまで競技者だけでなく市民のみなさんが1年を通じてスポーツに親しみ楽しんでいただくことのできる多彩なイベントを県内各地で展開しています。

その一環として、川崎では、7月11・12日の両日にわたって、とどろきアリーナで『いきいき体操フェアかながわ』を開催します。

テレビでおなじみのチャック・ウイルソンの健康体操の指導・日本チャンピオンによるエアロビクスの実技指導などを交えながら、地元川崎市内の各グループによる沖縄民謡・リズム体操、そして川崎市消防音楽隊の演奏とカラーガード隊によ

日本女子体育大学新体操部 集団演技



沖縄エイサー愛好会
沖縄舞踊
写真協力 嘉納辰彦氏

る演技や日本女子体育大学新体操部による集団演技などのアトラクションが盛りだくさんに準備されています。

また、会場ロビー等ではイベントコーナーも用意され、健康コーナーでは来場者を対象とした体脂肪や加速度脈波の測定などを行ったり、健康相談や体力チェックを実施します。国体コーナーでは国体のPR・クイズ・ぬり絵などを行います。また、物品販売コーナーでは、国体グッズやスポーツ用品、体操関連物品等の展示販売を行います。入場は無料です。体操指導などに参加を希望する人は、体操のできる服装と体育館履き(体育館用の運動靴)をご用意ください。

今年度の強化育成事業

国体神奈川大会の年を迎え、今年の川崎市体協の選手強化育成事業計画が決まりました。「重点強化種目」は8種目、「強化種目」が19種目です。各種目ともにその充実ぶりがうかがえますが、今後も底辺の拡大や、市民の生涯スポーツへの援助として継続していくことの必要性を感じます。

重点強化種目

1. 野球
 - ・基礎体力づくりと試合練習を中心にした一般選手強化と審判養成。
2. バレーボール
 - ・国体、全国大会の出場を目指した高校生選手の強化。
 - ・全国大会を目指して他県や実業団との試合。
3. バスケットボール
 - ・基礎と集団技術中心にジュニア選手の強化。
 - ・新ルールに対応した審判の養成。
4. 卓球
 - ・国体指定選手を重点に、多種にわたる実践練習を主とした選手強化。
5. テニス
 - ・素質ある選手の早期発掘育成と、交流試合を中心とするジュニア選手の強化。
 - ・審判理論と実技の両面指導。
6. ハンドボール
 - ・全国大会に向け実践練習でのジュニア育成。
 - ・ルール改正に対応した審判養成。
7. ボウリング
 - ・国体に向けての実践練習での強化。



重点強化のバスケットボール練習

8. サッカー
 - ・リーダー的な選手への実践による強化。
 - ・一般選手の技術強化と審判養成。
 - ・少年期の選手の指導者養成。

強化種目

- ◎陸上競技
 - 小学生対象に楽しさと基礎を含む底辺拡大。
- ◎ソフトテニス
 - 中学生を対象に競技人口の確保と選手強化。



強化種目のラグビーフットボール

- ◎柔道
 - ジュニア選手の育成と審判の養成。
- ◎弓道
 - 生涯スポーツに向けての武道の活用を図る。
- ◎相撲
 - 基本と対応中心にしたジュニア選手の強化。
- ◎水泳
 - 泳法の基礎と対応中心にジュニア選手強化。
- ◎ラグビーフットボール
 - 発達段階に応じたジュニア選手への指導。
- ◎体操
 - 基礎体力と技術、対応能力の向上をめざしたジュニア選手の強化。
- ◎なぎなた
 - ジュニアと一般選手の基本と応用の強化。
 - 実務研修を中心とする競技役員の養成。
- ◎少林寺拳法
 - 基本と実践で応用練習中心の一般選手強化。
 - ジュニア選手及び指導者のレベル向上をめざした講習会。
- ◎ソフトボール
 - 試合を通じてのジュニア選手強化。
 - 合宿と他県チームとのゲームによる一般選手の強化。

第34回全国身体障害者スポーツ大会かながわ・ゆめ大会 リハーサル大会本番さながらに展開される

本年11月に開催される第34回全国身体障害者スポーツ大会のリハーサル大会が、5月31日（日）川崎市の選手をはじめ横浜市、神奈川県を中心に、本番さながらに開催され、参加した選手も日ごろの練習の成果を発揮し、それぞれの競技において熱戦が展開されました。



▲開会式 川崎代表選手団 横浜国際総合競技場▲

選手300人が熱戦健闘

川崎市においては、『とどろきアリーナ』のメインアリーナで車椅子バスケットボール、同じくサブアリーナと研修室で卓球競技が行われました。

《車椅子バスケットボール競技》

すでに本大会出場権のある地元神奈川チームを除く1都6県の各県代表チームが本大会への出場権をかけて、熱戦を展開しました。川崎・横浜・神奈川県チームは本大会には推薦出場できるためオープン参加となりました。



熱戦展開中の車椅子バスケットボール

川崎チームは、オープン戦で横浜市と対戦し、善戦敢闘したものの、40対52で敗退しました。

車椅子バスケットボールは1チーム5人で、コートやボールなどの規定も一般成人のバスケットボールと同じで行われます。障害のレベルにより各自の持ち点が決められており、コート内の選手の持ち点の合計を一定以下に制限することで、障害の軽い人から重い人まで幅広く参加できるように配慮されています。

関東1都7県2政令指定都市の10チーム111名の選手が参加しました。

《卓球および盲人卓球競技》

卓球競技はサブアリーナで、また盲人卓球競技は研修室で行われました。

卓球では、障害の程度によりサービスの方法などの規定が一般の卓球競技にくらべて一部変更されています。また、盲人卓球は、小さな鉄の玉を入れて音が出るように工夫したボールをネットの下をくぐらせ、ボールが転がる音を頼りに打ち合いをします。したがって応援者は、選手のプレー中は会場内において静寂を保つよう努めなければなりません。このマナーがよく守られて試合はスムーズに進行されました。

卓球競技の参加選手は盲人卓球を含めて162名、そのうち川崎の選手は44名で、各種別で金メダル9・銀メダル9・銅メダル5と大健闘でした。



地元選手卓球で健闘！

350名のボランティア

川崎会場『とどろきアリーナ』での大会運営を支えた人たちは、大会役員・補助員等併せて323名、ボランティアの方々（競技担当ゆめフレンズ、選手団担当フレンズ、手話ボランティア、要約筆記ボランティア、介助ボランティア、案内介助ボランティア、会場サービスボランティア、クリーンボランティアの方々）347名、実施本部員（川崎市職員）147名でした。

川崎勢の目覚ましい活躍

大会は、川崎市と横浜市とで開催されました。川崎市における競技は、前述のとおりですが、横

浜市においては、横浜国際総合競技場において開・閉会式と陸上競技（参加選手654名内川崎101名）、横浜国際プールで水泳競技（126名内川崎25名）、県立保土ヶ谷公園サッカー場でアーチェリー（32名内川崎5名）、同野球場でグランドソフトボール（3チーム44名川崎はメンバーがそろわず不参加）を行いました。

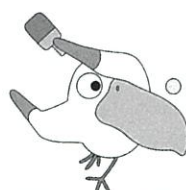
参加選手総数
1,386名、大会役員・補助員2,174名、ボランティア1,680名合わせて5,000名を超える参加者により、盛大な大会が成功のうちに終了しました。

川崎の選手の輝かしい成果は、別表のとおりです。

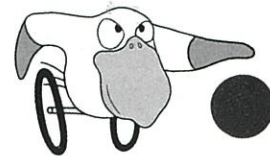
なお、川崎市の代表として本大会

に出場する個人競技の選手は、このリハーサル大会での参加を参考にして決定されます。

●卓球



●車椅子バスケットボール



川崎市選手団（個人種目）メダル獲得数

	陸上			水泳			卓球			アーチェリー			選手団別合計		
	金メダル	銀メダル	銅メダル	金メダル	銀メダル	銅メダル	金メダル	銀メダル	銅メダル	金メダル	銀メダル	銅メダル	金メダル	銀メダル	銅メダル
川崎中央地区		2						1						3	1
大師地区	2	1	2	4			1	4					7	5	3
田島地区	3	2	1	1			2	1	1				6	3	2
幸区	8	2	2	3	2			1	1	2	1	1	13	6	4
中原区	9	2	2	1			2						12	2	2
高津区	3	1	2	2	1		1	1	2		1		6	3	4
宮前区	6	5	2	3	1		1						10	7	3
多摩区	5	1	5	2			1	1					8	2	5
麻生区	4	1					1		1				5	1	1
川崎市合計	40	17	16	16	4	0	9	9	5	2	2	1	67	32	25

ご案内 第34回全国身体障害者スポーツ大会 11/7(土)・8(日)

等々力アリーナでは車椅子バスケットボールと卓球競技が
横浜国際総合競技場では開・閉会式と陸上競技が
横浜国際プールでは水泳競技が
県立保土ヶ谷公園ではグランドソフトボールとアーチェリーが
神奈川大学体育館ではバレーボールが行われます

「あなたと選手 あなたに拍手」



第34回全国身体障害者スポーツ大会
かながわゆめ大会

全国身体障害者スポーツ大会とは

- 身体障害者スポーツの国内最高レベルの大会で、「もう一つの国体」と言われています。
- 競技ばかりでなく参加する選手と県民・市民との交流を深めるため、様々なイベントが行われます。
- 参加・観覧される方々のコミュニケーションや移動のお手伝いをするため、多くのボランティアが活躍します。

大会の理念

- 21世紀に向けた新たな大会
- 障害のある人もない人もみんなで開催する大会
- 障害スポーツから生涯スポーツとしての大会
- かながわ・ゆめ国体と一体になった大会

参加予想人員

選手団等2,800人、大会役員・競技役員等2,500人、
集団演技者・吹奏楽隊等10,300人、ボランティア等11,500人、
観客（開・閉式）93,600人、その他5,200人、合計125,000人

青少年スポーツを育成しよう 川崎市スポーツ少年団の現況について

川崎市体育協会の中にある川崎市スポーツ少年団本部では、いま研究班を編成して、青少年スポーツの活性化や、スポーツへの参加機会に恵まれない少年達の意向に合った、参加支援の方向づけを研究しています。

「スポーツによる青少年の健全育成」と地域に根ざした活動を通しての少年スポーツは「生涯スポーツの出発点」という観点に立って、改めてスポーツ少年団へのご理解とご協力を頂きたいと考えています。こゝで「スポーツ少年団」について記してみたいと考えます。

先ず今回は、川崎市スポーツ少年団の組織の意義と本部の取り組みについて説明したいと思います。

スポーツの楽しみを青少年に

川崎市スポーツ少年団の上部団体である日本スポーツ少年団は、日本体育協会の事業として始まりました。「ひとりでも多くの青少年に、スポーツの楽しみと喜びを与え」「スポーツを通じて青少年の身体と心を育てる」組織を、みんなの住んでいる地域の中に作っていき、との考えから昭和36年(1962年)に日体協の中に創設されたものです。

日体協の役割としてスポーツ少年団の育成・指導に当たると共に、都道府県ならびに各都市体協を通じて少年団本部を組織化し、単位少年団の育成と組織の拡充、団活動の活発化を進めて来ました。

事業運営は団員や指導者の登録費や参加負担金を基に、教育委員会・公益法人(体協)の補助金等の支援によって行われています。

生涯スポーツの視点から

スポーツ好きな子供達を育て、地域の理解ある指導者や関係者らに支えられて、生涯スポーツの基礎を築く活動に取り組んでいくことは大変に意義のあることであります。

近年の、子供から高齢者に至るまでの、地域に住むすべての人々によるスポーツの大衆化・生活化の時代が、スポーツ少年団創設の背景にあります。子供達にとって、少年期に幅広い活動を行うことで、総合的な健康や体力作りを図り、それからの生涯にわたって、スポーツを愛好し続けるその基礎を身につけることは重要なことであります。

競技スポーツ選手の発掘へ繋がる

少年スポーツを振興することは、実は専門種目スポーツの卵の養成に通ずることに注目して頂き

たいと思うのです。

高校生や社会人になってからでは(競技スポーツを希望する人も減少傾向でもあるし)、選手としての育成には遅すぎるくらいです。少年期からいろいろなスポーツ・体育に馴染むことは、将来、自分に適するスポーツ選択眼が養われ、スポーツ上達への期待が持てるものともなりましょう。

スポーツ少年団の大なる効果は、将来にわたってそのスポーツの普及に貢献し、スポーツ人口の増加にも役立ちましょう。有望選手への成長も期待させ得るものです。

日本スポーツ少年団育成モデル地区事業に参加

日本体協の中のスポーツ少年団本部では、生涯スポーツの少年層の育成と、また組織拡大や活動活発化の施策として、組織加入率が低く活動も微弱な傾向にある政令指定都市を重点に、大都市育成モデル地区と定めて基盤強化を図っています。

川崎市では、いまその育成モデル地区に加わり、研究班を編成して組織規模の弱体や要因解明や課題の研究・施策策定等に取り組んでおります。

現在、川崎市では各競技団体の少年組織や、子供会等の活動で少年スポーツは活発ですが、スポーツ少年団加盟は未だ少数です。少年層が組織されていない競技の少年や、スポーツ好きのだけでも競技の場のない少年達は沢山います。スポーツ少年団では、それらの子供達に対し、スポーツフェスティバル等の参加機会の提供や、クラブ所属での仲間作りや交流会で楽しい活動参加が増える様に検討を進めています。これらの活動をなお一層推進するために、体協加盟の各競技団体が御協力下さるようお願いしたいと存じます。

(川崎市スポーツ少年団本部長 日野原 守)



両国国技館を めざして

はっけよい，残った，残った！

第44回川崎市こども相撲大会兼全日本小学生相撲優勝大会

5月5日，こどもの日。前日までの雨もあがり，さわやかな天気となったこの日。第44回川崎市こども相撲大会が川崎市富士見相撲場で開かれました。

伝統あるこの相撲大会，本年度から「全日本小学生相撲優勝大会」の川崎市予選会を兼ねることとなったこともあって，土俵上は一層の熱の入った相撲が展開されましたが，ことしの特徴として女子選手の活躍が目立ちました。

個人戦6年生の部で優勝した石垣早希さんは昨年も準優勝した選手で，一年間一層の技術を磨いての活躍となりました。また，5年生の部で優勝の高橋遼君と準優勝の新井美佐都さん，それに4年生優勝の石村俊介君は，石垣さんの車道場での後輩でもあり，これら仲間同士の日頃の鍛練が実を結んだ結果であるように思えます。

団体戦は車道場が圧勝

団体戦の結果は右表の通りですが，個人戦で上記の上位入賞4選手を擁する車道場が，他チームを圧倒する形で優勝をおさめました。

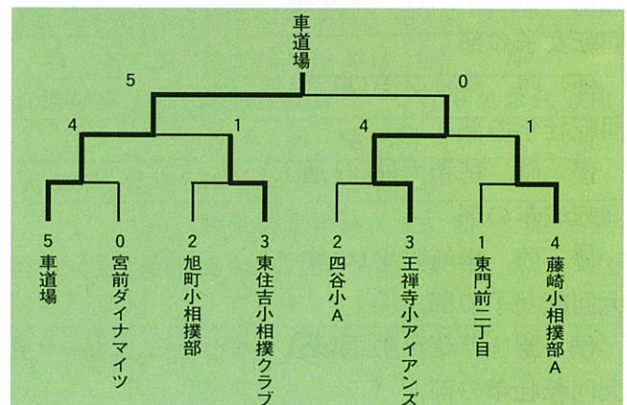
○団体戦の部

優勝：車道場 準優勝：王禪寺小アイアンズ
第3位：東住吉小相撲クラブ・藤崎小相撲部A

○個人戦の部

[4年生]優勝：石垣俊介／準優勝：内野拓
第3位：高橋翔吾：中野弘毅
[5年生]優勝：高橋 遼／準優勝：新井美佐都

第3位：斉藤直輝・関 聡
〔6年生〕優勝：石垣早希／準優勝：溜 恵太
第3位：大橋俊一・外山竜也



本大会の上位入賞選手は，全日本小学生相撲優勝大会に向けて，これから県大会，関東ブロック大会と勝ち抜いて行けば8月30日＝ブロック大会，11月29日＝両国国技館での全国大会に出場します。皆さん応援して下さい。

各種市民大会 種目団体の主な記録

○ソフトボール

平成9年度秋季市民ソフトボール大会

平成9年10月19日26日 等々力グラウンドほか
一般の部

優勝 いずみレインボー(幸)

準優勝 麻生クラブA(麻生)

壮年の部

優勝 高石シニア(麻生)

準優勝 高石団地(麻生)

○ラグビーフットボール

平成9年度秋季市民ラグビーフットボール大会

平成10年1月25日3月8日4月19日 等々力グラウンド
社会人・クラブの部

優勝 豊福クラブ

準優勝 三善クラブ

○スキー

第40回川崎市実業団クラブ対抗スキー大会

平成10年2月13日～15日 会津高原たかつえスキー場
最優秀選手 田中公文(バイレーシング)

団体対抗アルペンの部

優勝 東芝 準優勝 いすゞ

団体対抗ノルデックの部

優勝 東芝 準優勝 NEC R&D

団体対抗総合

優勝 東芝 準優勝 NEC R&D

リレー

優勝 東芝A 準優勝 NEC R&D

回転女子の部

優勝 草薙夕美(東芝)

回転壮年の部

優勝 穂積大助(日通工)

回転成年の部

優勝 串崎陽平(いすゞ)

大回転女子の部

優勝 草薙夕美(東芝)

大回転壮年の部

優勝 津田邦男(東芝)

大回転成年の部

優勝 田中公文(バイレーシング)

クロスカントリー壮年の部

優勝 小笠原英樹(NEC R&D)

クロスカントリー成年の部

優勝 長谷川幸二(東芝)

第50回川崎市民スキー大会

平成10年2月13日～15日 会津高原たかつえスキー場
土田彌輔記念杯優秀選手 濱 秀徳(バイレーシング)

大回転女子Cの部

優勝 斉藤るり子(川崎スキー)

大回転女子Bの部

優勝 鈴木明子(一般)

大回転女子Aの部

優勝 山田恵里子(川崎スキー)

大回転男子Fの部

優勝 土屋広夫(NKK)

大回転男子Eの部

優勝 山田喜一郎(川崎スキー)

大回転男子Dの部

優勝 津田邦男(東芝)

大回転男子Cの部

優勝 後藤寿史(東芝)

大回転男子Bの部

優勝 田中公文(バイレーシング)

大回転男子Aの部

優勝 濱 秀徳(バイレーシング)

○卓球

川崎市制記念卓球大会

平成10年5月23日24日 とどろきアリーナ
中学男子

優勝 早坂竜太(平間中学)

中学女子

優勝 佐藤理江(西中原中学)

高校男子

優勝 斉宮浩臣(橘高校)

高校女子

優勝 青山恵美(大西学園高校)

一般男子A

優勝 佐野秀雄(中原クラブ)

一般男子B

優勝 根本一美(松草クラブ)

50才男子

優勝 清水上幸治(NKK)

一般女子A

優勝 石川充子(あすなろ)

一般女子B

優勝 岡野恵美子(岡上クラブ)

○バドミントン

川崎市春季市民バドミントン大会

平成10年5月24日 川崎市体育館

一般男子

優勝 RITZ 準優勝 翼成会

一般女子

優勝 東芝川崎事業所A 準優勝 川崎市水道局

○柔道

川崎市制74周年市民総合体育大会柔道大会

平成10年5月31日 川崎市体育館

小学生団体の部

優勝 柿生青少年柔道会B

準優勝 幸柔道クラブ

中学生団体の部

優勝 南加瀬中学校A

準優勝 日吉中学校A

無段団体の部

優勝 臨港バス柔道クラブ

準優勝 東芝柳町

有段団体の部

優勝 車道場

準優勝 柿生青少年柔道会B

第49回神奈川県総合体育大会予定表

県内の37市町村対抗の県総合体育大会がこの夏から次のとおり15競技で行われます。

ここ2年間、総合2位と今一步のところで優勝を逃しています。今年は頑張ります。

種目別	期 日	会 場
スキー競技	2/20～22	マウンテンパーク津南カガンスキー場
ソフトボール競技	8/9.16	綾瀬市本蓼川野球場ほか
ソフトテニス競技	8/9	平塚市田村庭球場
水泳競技	8/16	県立体育センター
陸上競技	9/27	県立体育センター陸上競技場
バレーボール競技男子	9/20	秋葉台文化体育館
バレーボール競技女子	9/20	県立体育センタースポーツアリーナ
軟式野球競技	9/23.27	厚木市玉川球場ほか
サッカー競技	9/23.27	県立体育センター球技場ほか
卓球競技	9/27	県立体育センタースポーツアリーナ
バスケットボール競技	9/23.27	伊勢原市体育館ほか
柔道競技	9/27	県立武道館
剣道競技	9/27	県立武道館
弓道競技	9/27	県立武道館
バドミントン競技	9/23	大和スポーツセンター

川崎市体協加盟団体連絡者名簿			平成10・11年度加盟団体評議員		
加盟団体名	氏 名	電話番号	加盟団体名	評議員名	電話番号
陸上競技協会	皆川 敏明	045-813-3917(自)	陸上競技協会	赤地 靖男	200-3255(勤)
野球協会	高橋 章	863-6341(勤)	野球協会	岡田 良之助	222-2907(自)
バレーボール協会	前田 亨介	244-4981(勤)	バレーボール協会	佐藤 猛之	233-3709(自)
バスケットボール協会	椎橋 孝	588-6428(勤)	バスケットボール協会	澤村 俊	878-3211(勤)
バドミントン協会	池田 浩通	866-9913(自)	バドミントン協会	中山 剛	200-3097(勤)
卓球協会	菊地 政宣	751-7252(自)	卓球協会	菊地 政宣	751-7252(自)
テニス協会	野崎 耕司	045-421-7958(自)	テニス協会	高瀬 健二	045-832-4116(自)
ソフトテニス協会	中森 忠也	03-3502-3223(勤)	ソフトテニス協会	鈴木 雄	03-3764-3354(自)
柔道協会	車 耕	911-9170(自)	柔道協会	森川 重三	511-3826(自)
剣道連盟	塘地 健治	220-1677(勤)	剣道連盟	富田 郎	220-3340(勤)
弓道連盟	石渡 澄穂	266-5803(自)	弓道連盟	阿久澤 幸衛	233-9297(自)
相撲連盟	天川 美章	222-7186(勤)	相撲連盟	森崎 幸伸	03-3759-1661(自)
山岳協会	大柴 俊介	411-7452(自)	山岳協会	山岳 幸伸	977-2910(自)
水泳協会	柴崎 淳	511-6527(勤)	水泳協会	柴崎 淳	511-6528(勤)
スキー協会	藤田 まゆみ	03-5722-3432(自)	スキー協会	中村 孝	045-542-1393(自)
スケート協会	中畑 一男	322-7710(自)	スケート協会	中山 精	322-7710(自)
ラグビーフットボール協会	榎崎 尚	722-8228(自)	ラグビーフットボール協会	山田 修	766-5183(自)
サッカー協会	今村 正兵	541-0289(自)	サッカー協会	前田 修	287-5539(勤)
体操協会	吉村 敏雄	766-7456(勤)	体操協会	石原 匡	322-4571(勤)
少林寺拳法協会	皆川 英治	03-3728-2922(自)	少林寺拳法協会	野田 多	287-2490(勤)
空手道連盟	森 明夫	788-3648(自)	空手道連盟	野口 晏正	533-8841(自)
ハンドボール協会	千葉 敏	511-9822(勤)	ハンドボール協会	野村 英二	511-9822(勤)
なぎなた連盟	河村 和枝	555-0294(自)	なぎなた連盟	永野 節子	288-0537(自)
ソフトボール協会	木村 邦雄	03-3413-5686(自)	ソフトボール協会	阿部 邦雄	03-3413-5686(自)
クレー射撃協会	直井 光雄	541-2200(自)	クレー射撃協会	阿部 力	588-2142(自)
合気道連盟	石川 光敬	932-4578(自)	合気道連盟	大村 浩章	865-1435(自)
ボウリング協会	木戸 一修	976-3063(自)	ボウリング協会	田中 孝一	599-1995(自)
ゲートボール連合	武田 辰次	411-5937(自)	ゲートボール連合	竹内 彦三	911-7372(自)
ゴルフ協会	関根 健	045-824-2400(自)	ゴルフ協会	中島 伸夫	288-2226(自)
アマチュアダンス協会	馬場 美智	299-0862(自)	アマチュアダンス協会	山崎 勝雄	733-3444(自)
高等学校体育連盟	松本 博幸	511-9834(勤)	高等学校体育連盟	松本 博幸	511-9834(勤)
中学校体育連盟	松本 博幸	511-9834(勤)	中学校体育連盟	藤原 真和	855-7914(勤)
中学校体育連盟	藤 真一	855-7914(勤)	川崎市教育委員会	上 和彦	200-3245(勤)
			川崎市教育委員会	柿元 文雄	200-3312(勤)

体育協会賛助会にご入会のお願い

21世紀を目前に当協会では、スポーツのもつ深い意義を踏まえ、市民が日常生活の中で自主的・自発的・継続的にスポーツ活動が実践できるよう、市民総スポーツ・生涯スポーツをスローガンにかかげ、市民各層がスポーツ活動に参加できるような機会を広げるため努力しております。

生涯スポーツ振興のための指導者育成を始め、市民が気軽に参加できる各種スポーツ教室やスポーツ大会の開催等スポーツの日常化を推進し、健康で明るい市民生活が営めるように様々な事業を展開しております。

このような当協会の活動目的を達成するためには、組織とは別の財政の裏付けが必要となります。現在、62団体、475名の方々に賛助会員として御協力をいただいておりますが、これを機会に趣旨にご賛同頂ける新たな方々のご入会をお願いしております。

会費は、個人会員 年額1口2千円
団体会員 年額1口1万円

〒210-0923 川崎市幸区戸手本町1-11-3 幸スポーツセンター内
(財)川崎市体育協会事務局 電話044-556-5511

何かお気づきの点がございましたら、事務局までご一報ください。

行事のお知らせ

市民マラソン

9月5日から受付

実施期日：11月15日(日) 多摩川河川敷マラソンコース

種目 ①10km ②ハーフマラソン

男女 および年齢別 先着3,000名

申込み受付期間 9月5日～9日

9:00～17:00

場所 川崎市教育委員会スポーツ課
(安田生命ビル5F)

☎044-200-3245

世界バレー選手権大会

実施期日：11月13, 14, 15日

大会会場：等々力アリーナ

入場券前売り中 川崎市役所分庁舎

☎044-211-9345

賛助会員提携店のご案内

次のスポーツ店で賛助会員に対しての優待割引をして頂いております。ご利用ください。

- (有) トモエスポーツ
川崎区小川町2-2 ☎222-3357
 - (株) 三愛スポーツ
川崎区小田3-16-8 ☎333-6211
 - 三陽スポーツ
川崎区池田1-14-4 ☎222-5803
 - (株) カワブチスポーツ
幸区下平間214 ☎511-1615
 - (有) アイダスポーツ
中原区田尻町11 ☎533-8411
 - (株) フジスポーツ
中原区小杉3-28-3 ☎711-0505
 - (有) 三井スポーツ
中原区上新城2-8 ☎766-1753
 - (株) グリーンスポーツ
宮前区鷺沼3-1-17 ☎854-3311
 - (株) ミキスポーツ
多摩区堰3-10-1 ☎822-8885
- (いずれも川崎市運動具商組合加盟店です。)

編集後記

有難いことに予算をつけて頂けて、B5版からA4版に衣替え。

印刷機械のデジタル化で紙面もより鮮面になった筈。12ページ建てから16ページに増頁。中面にもカラーが2ページ入り、活字も大きく読み易くなった。用紙も再生紙を使用することとなり省資源に一役。突然の予算増の話であったので、編集委員も新体制作り少し慌て、肝心の編集の方はいま一つ。次号にご期待下さい。(左澤)

スポーツかわさき 48号

—発行— 平成10年6月30日

(財)川崎市体育協会

〒210-0923 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市スポーツセンター内

TEL 044-556-5511 FAX 044-556-5559

—編集— (財)川崎市体育協会 広報委員会

—印刷— (株)第一サンエー (TEL044-222-2356)

〒210-0002 川崎市川崎区榎町3-9